



豊島区国際アート・カルチャー都市構想

実現戦略

概要版

豊島区

平成28年7月



国際アート・カルチャー都市としまの シンボル 文化とにぎわいの拠点へ



国際アート・カルチャー都市の将来像を牽引するシンボル

●旧庁舎地周辺まちづくり

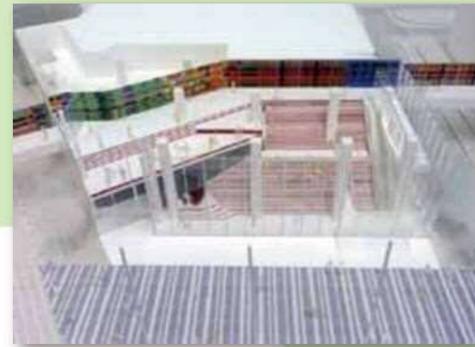
新たなランドマークの誕生

旧庁舎敷地及び公会堂は、1,300席の新ホールとオフィス・にぎわい施設等が整備されます。

また、区民センターの改築では、区民のみなさんの利用しやすい約500人、約160人収容のホールと、女性や子ども連れの来街者に優しい大規模なパブリックトイレや子育て支援スペース等が整備されます。あわせて、周辺の公園・道路も整備されることによって、国際アート・カルチャー都市の顔となる文化にぎわい拠点と新たなランドマークを創出します。

一体感あられる統一されたデザイン

公園から見た3つの建物は外観と低層部の演出を統一したデザインとなり、新ホール棟を中心とした2つの路上デッキが「8つの劇場」へとつながります。また、高さ10mにもなる透明な低層部が施設の内外への一体感を高めます。



新ホール棟のエンタランス(イメージ)



新区民センターのエンタランス(イメージ)



多目的ホールでのレセプション(イメージ)



マルシェ
(フランス語で「市場」)

●(仮称)豊島区新区民センター

新区民センターは、多目的ホール(約500人収容)、小ホール(約160人収容)、会議室等を備えた、区民に使いやすいさまざまな活動拠点として、生活産業プラザと一体的な整備を進めます。

1階には、あらゆる催し物の案内ができるインフォメーションコーナーを設置し、2階と3階には、大規模なパブリックトイレを始め、コスプレイヤー等も利用できるフィッシングコーナーやパウダーコーナーを設置します。さらに2階の一部には、授乳室等を配置した「パパママ☆スポット」を整備し、子育て世帯の外出を支援します。

●グリーン大通り オープンカフェ

国家戦略特区による道路法の特例を活用し、当該エリアのにぎわいの更なる創出に向け、オープンカフェ、マルシェの運営やイベントを実施するとともに公共貢献の取り組みを検討しています。



オープンカフェ

●(仮称)豊島区新ホール

新ホールは、1,300席を有する多目的ホールとして整備されます。

さまざまな文化芸術活動の拠点として、ミュージカル、宝塚歌劇、歌舞伎、バレエ、オペラ、伝統芸能、コンサート等の公演に加えて、成人式や学校行事等の多種多様な利用に対応できる高い性能を備えます。



新ホール(イメージ)

●南池袋公園

池袋副都心にふさわしい、緑豊かでにぎわいのある公園が開園しました。

一年中緑の芝生が広がります。

生産者と消費者の食のつながりの場を目指した地元の人気店によるレストランもあります。



国際アート・カルチャー 都市構想と実現戦略

●国際アート・カルチャー都市とは

「芸術文化」という言葉で一般的にイメージされる枠組みを超え、伝統的な文化から先端的な文化まで、衣食住に関わる生活文化からハードな都市づくりまでをも含み、アートの持つ想像力・創造力で、まちづくりを展開していくことで、世界中の人々を魅了し、持続発展する都市です。

●国際アート・カルチャー都市の目標

豊島区の魅力を国内外に発信していくことにより、都市イメージの向上を図ります。それによって、豊島区が区民はもとより区外の人からも「選ばれるまち」になり、地域への誇りや愛情が熟成され、豊島区を愛する人々がその魅力をさらに発信し、人と産業を惹きつける好循環を創出します。

文化戦略

多様性を踏まえた文化芸術の展開

空間戦略

出会いが生まれる劇場空間の創出

国際戦略

世界とつながり人々が集まるまち

まち全体が舞台の誰もが主役になれる劇場都市

国際アート・カルチャー都市構想を実現する「3本の矢」

平成26年10月
国際アート・カルチャー都市プロデューサー11名を任命！
文化芸術の最前線で活躍の11名のプロデューサーが行政にはない豊かで自由な発想で都市構想をアドバイス
自ら都市の魅力を発信

国際アート・カルチャー都市プロデューサー

第1の矢

人が集まり、出会いを繰り返しながら、様々な文化がひしめき合うまち 豊島区

豊島区は、これまで培ってきた歴史や文化を引き継がれて来たまちなみを大切にしながら、急激に副都心として成長する過程で、「住む・働く・学ぶ・楽しむ・憩う」など、モザイクのようにさまざまな顔をもつまちとなっています。



国際アート・カルチャー都市懇話会

第2の矢

平成27年3月
国際アート・カルチャー都市構想を策定！

平成27年11月
国際アート・カルチャー都市懇話会を始動！

文化芸術のトップリーダーを始め31名の委員が都市構想を具体化する「文化」「国際」「空間」の3つの実現戦略を検討



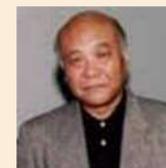
国際アート・カルチャー特命大使認証式 (平成28年1月12日)

国際アート・カルチャー特命大使

第3の矢



〈会長〉
近藤 誠一氏



小田島 雄志氏



隈 研吾氏



里中 満智子氏



野田 秀樹氏



写真 海田 悠
野村 萬氏



福地 茂雄氏

〈6名の特別顧問〉

平成28年1月
国際アート・カルチャー特命大使の活動を開始！

都市構想の発信・事業への参画等を通じて構想の裾野を拡大

現在1,000名を超える応援団 (2016年5月末現在)

国際アート・カルチャー都市構想に賛同し応援することを申し入れていただいた方々が「国際アート・カルチャー特命大使」のみなさんです。



国際アート・カルチャー特命大使任命式 (平成28年3月19日)

実現に向けたロードマップ

2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

推進体制	多様な主体が連携	豊島区国際アート・カルチャー都市プロデューサー 豊島区国際アート・カルチャー都市懇話会 特別顧問、委員 豊島区国際アート・カルチャー特命大使
	文化戦略	多様な文化の融合・創造へ 都と連携した都市型総合芸術祭 【魅力拡大】 演劇 アート、サブカルチャー 【創造環境整備】 新ホール・新区民センター、にしすがも創造舎、アートステーション構想 アーティスト・イン・レジデンス 【文化継承】 ソメイヨシノ、フクロウ、東京よさこい、東京大塚河波おどり、雑司が谷未来遺産、長崎獅子舞
	国際戦略	世界に向け発信・受入整備へ 【魅力発信】 国際会議誘致、国際的文化プログラム開催、東アジア文化都市応募 【インバウンド】 JNTO（日本政府観光局）との連携発信、インバウンド冊子発行、Wi-Fi 環境整備、手ぶら観光機導入 【スタートアップ】 起業支援、宿泊施設
	空間戦略	人間優先の都市空間へ 【プランニング】 池袋駅副都心まちづくりガイドライン、池袋プランニング・シティ戦略 【劇場空間創出】 オープンカフェ、リノベーション、エリアマネジメント 【人間優先】 池袋駅東口ランニング計画、無電柱化、東西デッキ整備

東京五輪

◆8つの劇場オープン

東アジア文化都市2020 豊島区開催
新ホール・新区民センター 竣工
誰もが主役になれる劇場都市の実現
創住一体の人間優先都市の実現
文化・国際・空間戦略におけるレガシーの継承

3つの戦略が相互に連携し文化とにぎわいの都市へ

文化戦略

多様性を踏まえた文化芸術の展開

サブカルチャーからハイカルチャーまで、伝統的な文化から最先端の文化まで、ジャンルを超え、さらに、アートとエンターテインメントとの融合を図る等、多様な文化が共存する世界に例を見ない豊島区らしい国際アート・カルチャー都市の魅力が溢れるまちづくりを進めていきます。

豊島区の強み、サブカル、舞台芸術、池袋モンパルナスの展開

- サブカルチャーの魅力の普及と拡大
- 舞台芸術のまちとしての魅力発展
- 池袋モンパルナスと呼ばれた芸術と文学のまちとしての魅力拡大

多様な文化芸術の創造と創造環境の整備

- 文化創造と発表の場の整備
- 区民との連携による多様な文化の創造
- アーティストがスタートアップし、暮らし活動することができる環境の整備

地域文化・伝統文化の継承と発展

- としま文化イメージの展開
- 地域文化の拡充と参加の拡大
- 伝統文化の継承と発展



マンガの聖地に
南長崎マンガランドの展開

国際戦略

世界とつながり人々が集まるまち

東アジア文化都市の開催を目指し、国際アート・カルチャー都市としての魅力を世界に向けて発信します。また、増加を続ける訪日外国人旅行者の受入環境を整備し、インバウンド機能を強化します。さらには、海外を視野に入れた産業の活性化を進めていきます。

国際アート・カルチャー都市としまを世界に発信

- 国際会議やイベントの誘致・開催
- 東アジア文化都市をめざして

インバウンド機能の強化

- 情報提供の一元化
- 滞在環境の充実
- 回遊環境の整備

世界から企業が集まり、世界へ展開するまちに

- 世界に向けた産業政策



空間戦略

出会いが生まれる劇場空間

国際アート・カルチャー都市に必要な空間づくりとして、車優先・効率優先となってきた都市空間を人間優先に取戻し、その空間をまち全体に広げ、誰もが主役になれる舞台として開放していきます。そのために、区内全域で公民連携によるヒューマンスケールのまちづくりを進めていきます。

まち全体の価値を高めるブランディングの推進

- エリアブランディング
- 文化と生活・産業が創発するまちづくり

劇場空間の創出

- 劇場空間の創出
- 劇場空間運用のしくみづくり

人間優先の回遊空間の整備

- 駅からにぎわいが広がるまちづくり
- 歩行者優先のまちづくり



平成 28 年 7 月
編集・発行 豊島区文化商工部文化デザイン課
〒171-8422 豊島区南池袋 2-45-1
電話 03-3981-1111 (代表)

表紙「西口まちづくりのイメージ」(三菱地所提供)と「南池袋公園」